

年主題 「恵みを数えつつ歩む教会」

1. 礼拝順序

司式 役員
奏楽 オルガニスト

前奏
招詞

いかに幸いなことでしょうか あなたによって勇気を出し 心に広い道を見ている人は。嘆きの谷を通るときも、そこを泉とするでしょう。雨も降り、祝福で覆ってくれるでしょう。彼らはいよいよ力を増して進みついに、シオンで神にまみえるでしょう。万軍の神、主よ、わたしの祈りを聞いてください。ヤコブの神よ、耳を傾けてください。神よ、わたしたちが盾とする人を御覧になりあなたが油注がれた人を顧みてください。(詩編 84 篇 6-10)

- 讚美歌 二編 136 番 (1、2 節) 次ページ
- 主の祈り 次ページ
- 交読文 17 詩編 65 篇 (別冊交読文 p.19)
- 信仰告白 次ページ
- 聖書 出エジプト 20 章:12-17 節 (旧約 p.127)
マルコによる福音書 10 章 17-22 節 (新約 p.81)
米倉美佐男牧師
- 祈禱 米倉美佐男牧師
- 説教 「あなたに欠けているものが一つ」
米倉美佐男牧師
- 讚美歌 二編 188 番 (1、2 節) 次ページ
- 聖餐 配餐:役員
- 讚美歌 21-504 番(1、3 節)
- 奉獻 お当番
- 讚美歌 21-65-2 番
- 頌栄 21-29 番
- 祝禱 米倉美佐男牧師
- 報告
- 祈りの時 後任牧師を迎えるよき準備ができますように、伝道
献身者が起こされるように。
- 後奏

2. 集会案内

- 礼拝前祈禱会 10:15 於:礼拝堂前方
- 礼拝後掃除 礼拝堂・教育館
- クリスマスの飾りつけの片付け
- ※聖書研究・祈禱会は休会中です。
それぞれの場においてお祈りください。

聖書 (聖書日課・木曜日) イザヤ 64:5~11

- 今月の祈り
- ・後任牧師を迎えるよき準備ができますように。
 - ・伝道献身者のために。神学校のために。宣教師のために
 - ・教区祈りのカレンダーより祈る教会:
 - + 稲城教会
牧師 中野通彦、創立 1949 年、現住陪餐 32、礼拝出席 25、
祈禱会出席 6 CS 出席-、予算 530 万円。
祈りの課題:
一日も早くコロナ禍がおさまって、子どもプログラムが再開されますように。

○次週主日礼拝 1月8日(日)10時半 降誕節第3主日

「わたしは何者でしょう」
詩編 8 編 1 節-10 節 矢田洋子牧師

司式:役員 奏楽:オルガニスト
礼拝当番:お当番
招詞・詩編 96 編 1~2 交読文・24 詩 100 篇
讚美歌・21-18(1.3) 21-484(1.4)

- 礼拝前祈禱会 10:15 礼拝堂前方
- 礼拝後掃除 礼拝堂・教育館
- 1月度定例役員会 15:00~於:教育館

【主の祈り】

天にまします我らの父よ。
願わくは御名（みな）をあげさせたまえ。
御国（みくに）を来たせたまえ。
みこころの天になるごとく、
地にもなさせたまえ。
我らの日用（にちよう）の糧（かて）を
今日も与えたまえ。
我らに罪を犯す者を我らが赦（ゆる）すごとく、
我らの罪をも赦したまえ。
我らを試（こころ）みにあわせず、
悪より救いだしたまえ。
国と力と栄えとは、
限りなく汝（なんじ）のものなればなり。
アーメン。

【使徒信条】

我は天地の造り主ぬし、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊（せいれい）によりてやどり、処女（おとめ）マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府（よみ）にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇のぼり、全能の父なる神の右に座したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審（さば）きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し（ゆるし）、身体（からだ）のよみがへり、永遠（とこしえ）の生命（いのち）を信ず。アーメン。

【讚美歌二編136番】

1. われ聞けり「かなたにはうるわしき都（みやこ）あり」
かがやける かの岸に、われは間もなく着かん。
「ハレルヤ」とうたいつつ、うたいつつすみゆかん。
わが足はよわけれど、みちびきたまえ、主よ。
2. われ聞けり「かしこには争いもわずらいも
あすの憂（うれ）いもなし」と、われは間もなく着かん。
「ハレルヤ」とうたいなば かなしみも幸とならん。
われは はや さ迷わじ、
神ともにいませば。

【讚美歌二編188】

1. きみのたまものと 若いちからを
神のみ名のため きよくもちいよ。
み子はさきだちて すすみゆかれる、
友よ、いさみたち み子につづけよ。
（おりかえし）
きみのたまものと 若いちからを
神のみ名のため すべてささげよ
2. きみのたましいを すべてささげて
神のわざのため つとめいそしめ。
神はひとの世に み子をあたえて、
きみの立つことを 待っておられる。